

STYLING

MONO

降雪量が多く、森林率も高い
ニューイングランド地方の地域的な
自然条件下で機能するシューズを作る
ことから始まったコンバース。
同じマサチューセッツ州で、やはり
冬の室内スポーツとして誕生した
バスケットボールとは深い縁があった。



VOL.26 CONVERSE SINCE 1908~

●[コンバース]

Photo/Tomoaki Tsuruda(WPP)

Converse Footwear

Text/Teruhiko Doi(WPP)



6月のアメリカは
NBAファイナルに進んだ
どちらのチームがチャンピオン・
フラッグを掲げるのか？が
国民的な関心事となる。
全米4大スポーツのひとつである
バスケットボールがこれほどの
人気になった理由としては
このスポーツがアメリカ生まれ
であることが大きいだろう。
源流にクリケットやラグビーが
ある野球やアメフトとは異なり
これはマサチューセッツ州の
学校講師であった人物が19世紀に
冬の室内運動として考案し、
ルールやスタイルなどすべてが
アメリカで作られたものだ。
ジェームス・ネイスミスという
その人物が考案したルールでの
初めての公式試合は1892年に
彼が勤める学校で行われた。
たちまち大人気となったバスケットは
急速に世界へと広まり、1904年
にはオリンピックの公開競技となる。
そんな時代に一足の専用シューズが
マサチューセッツで誕生する。
1917年発売のコンバース
「キャンパスオールスター」である。

STYLING

MONO

20世紀初頭のバスケットボールは、高校や大学を中心としたアマチュアの競技。現在もNBA以上の熱狂が伝えられる「3月の狂乱」と言われるNCAA、全米大学バスケットボールトーナメントはプロリーグよりも歴史が古く、コンバースはその時代から知名度を上げていった。



1917年誕生のバスケットボール専用シューズ「キャンバスオールスター」は、足首を保護する斬新なデザインで、歴史に残る傑作シューズとして知られる。驚くべきはその素材やデザインが、21世紀に入ってもほとんど変わっていない点で、その完成度は発売当時から高かったのである。そしてキャンバスオールスター発売から95年目の今年、クラシックなルックスはそのままに非加硫製法によって軽量化を実現(同社比で片足約100gの軽量化)し、屈曲性やクッション性を高めた進化系モデル『キャンバスオールスターカライズエヴォH1』がいよいよ発売されることになった。着目すべきは95年間も変わらぬ完成度を誇っていたオールスターが、素材やデザインはほとんどそのまま、ソールの製法を中心に片足約100gの軽量化を実現したこと。また、アウトソールに入った屈曲溝で、歩きやすさを向上しており、ミッドソール、クッション材、そしてカップインソールの圧縮E.V.A.3層構造がクッション性を約10%も高めている。過去の名品との比較はナンセンスだが、これが21世紀のテクノロジーでようやく95年目の進化を遂げられたと考えれば、この進化系オールスターの存在意義が理解できるのではないだろうか。新しいコンバースの履き心地はまさに21世紀のクラシックモダンなのである。



デザインを見てもほとんどオリジナルのキャンバスオールスターと変わらないが、実際に手にしたり、あるいは履いてみたりするとその軽さが実感できる。絶対的な定番の進化はそれだけでニュースなのである。

キャンバスオールスターカラーズエヴォH1に採用されたカラーは4色。これはキャンバスオールスターがバスケットシューズからストリートへと飛躍した記念すべき1971年モデルのカラーリングを採用したもの。クラシカルな色合いがとてもカワイイ。

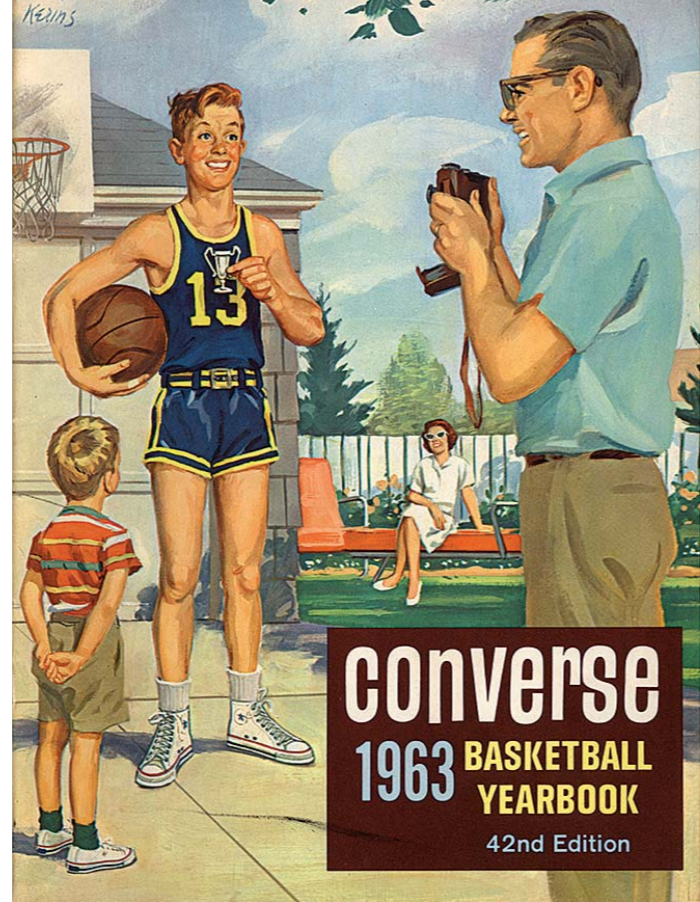


STYLING

MONO



コンバース・オールスターの代表的アイコンであるアングルパッチはくまぶしを保護するための円形のパッチであるが、そこに入っているのはシューズの普及に尽力した、往年のバスケットボール選手チャック・テイラーのサイン。生涯オールスターを履き続けたそうだ。



converse
1963 BASKETBALL YEARBOOK
42nd Edition

スター以外にも数多くの名品を世に送り出すブランドとなるが、70年代に入ってから、このスポーツシューズがストリートのシューズとしても人気となっていく。特に「キャンバスオールスター」はデニムやコットンパンツ、そしてTシャツとの組み合わせでアメリカンカジュアルとして世界的な流行となり、世界に知られるようになる。コトンのアッパーとゴムのソールというシンプルな素材と、100年近く経ったいまでもほとんど変わらない完成されたデザインは「絶対的定番」として強固な地位だが、登場から95年目の今年、その進化系とも呼ぶべき「キャンバスオールスター カラーズエヴォ」が登場。スタイリングはそのままに、軽量化やクッション性などを高めて、翼が生えた履き心地を実現している。

コンバースは1908年、米国マサチューセッツ州モーリデンで創業された。創業者はマーク・M・コンバース。雨や雪の中でも作業できるラバーシューズの製造からスタートした。創業者の視点は正しく、そうしたシューズの需要は増えるばかりだ。だが、冬場に集中する販売量の偏りを是正するため、年間を通しての需要が見込めるシューズの製作を思いつく。マーク・コンバースが着目したのは、まだ誕生して間もないスポーツであったバスケットボール専用のシューズ。この競技の将来性を見込んでの決断だったが、足首を保護するハイカットのデザインは斬新で、シューズが目立つ室内競技の特異性も手伝って「キャンバスオールスター」は人気を博していく。特に同社シューズの宣伝・普及活動に功績があったのはチャック・テイラーという人気選手で、いまもオールスターのアングルパッチには同選手のサインが入っている。このサインが製品に入れられるようになったのは1946年から。奇しくもこの年は、アメリカで初めてプロバスケットボールリーグが発足した年でもある。以降、コンバースはオール

翼が生えた履き心地 進化系オールスターの奇蹟



考えてみて欲しい。10kgの製品を100g軽量化するのではないのである。わずかに数百gのシューズを片足約100gも軽量化できたというこの驚くべき事実に感動すべき。軽量化だけでなく、クッション性と屈曲性も高められた21世紀のオールスター。その履き心地を、昔からの愛用者ならばとりあえずは試してみるべきだと思う。

※商品の仕様は、改良のため予告なく一部変更になる可能性があります。



白系パンツの足もとをさわやかに演出してくれるゴールド。オールドモデルのフェイスをきちんと踏まえた、マニアにも嬉しいデザインなのである。



キャンバス オールスター カラーズエヴォ HIに採用されたカラーは、ゴールド、グリーン、パープル、ライトブルーの4色。そのカラーリングはまさに70年代の色。デニムやコーデュロイパンツ、あるいはアウターの色に合わせて軽快な足もとを楽しみたいもの。ちなみに、ライトブルーは真新しいものもいいが、洗濯を繰り返して色落ちさせたものと同じく、色落ちしたデニムの組み合わせで最強。



STYLING

MONO

コンバースに関するお問い合わせは
コンバースインフォメーションセンター
☎0120-819-217
converse.co.jp



キャンバス オールスター カラーズ エヴォ HI
ゴールド 価格6615円



キャンバス オールスター カラーズ エヴォ HI
グリーン 価格6615円



キャンバス オールスター カラーズ エヴォ HI
ライトブルー 価格6615円



キャンバス オールスター カラーズ エヴォ HI
パープル 価格6615円